令和６年度版

消　防　年　報

勝山市消防本部

この年報は、勝山市の消防現勢および令和６年度中の消防行政に関する実態を統計的に集録し将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するため編集いたしました。

なお、この年報は令和７年４月１日をもって作成したもので、統計その他のものについては、当該表に記載した年月日によります。

令和７年５月１日

勝山市消防本部

庶　務　関　係

目　次

１	市　勢	－　３　－
２	歴代消防管理者・消防長・消防署長・消防団長	－　６　－
３	沿　革	－　８　－
４	消防の沿革	－　９　－
５	大火と災害記録	－２２－
６	消防の組織	－２４－
７	消防本部事務分掌	－２５－
８	消防予算状況	－２６－
９	消防予算と人口等の関係	－２６－
１０	消防職員配置状況	－２７－
１１	消防職員の勤続年数	－２７－
１２	消防職員の年齢調	－２８－
１３	消防職員の採用状況	－２８－
１４	消防職員の教養状況（１０ヶ年）	－３０－
１５	消防団員の報酬及び費用弁償	－３０－
１６	消防団員の配置	－３１－
１７	消防団員の階級別勤続年数	－３２－
１８	分団別団員の勤続年数	－３２－
１９	消防団員の階級別年齢層	－３３－
２０	分団別年齢層	－３３－
２１	消防職・団員出動状況	－３４－

1　市　勢

（1）　地勢

勝山市は福井県の東北部に位置し、市の中心は福井市の東方約２８km の地点にあり、南東は大野市に、南西は福井市、北西に坂井市、西に永平寺町、北は石川県に隣接している。また、市の周辺は1,000m級の山々に囲まれ、中心部は県下最大河川である九頭竜川の中流域に位置している。

市街地は九頭竜川の流れに沿って形成された河岸段丘に位置しており、明治以来の地場産業である繊維産業を中心とした商工業と、古くから盛んな農林業を基幹産業とする水と緑の豊かな田園都市である。また、近年では観光業にも力を入れており、福井県立恐竜博物館をはじめ、スキージャム勝山、平泉寺白山神社、越前大仏等の観光客数は年々増加している。

（2）　位置

東　経	北　緯	標　高		面　積	長　さ	
		最　高	市役所		東　西	南　北
136° 23’ 34″	36° 0’ 13″	1,671.4m	129.4m	253.88k ㎡	23.3km	17.0km
136° 39’ 44″	36° 9’ 17″	（大長山）	（中央公園）			

（3）　世帯数及び人口（令和７年３月３１日現在）

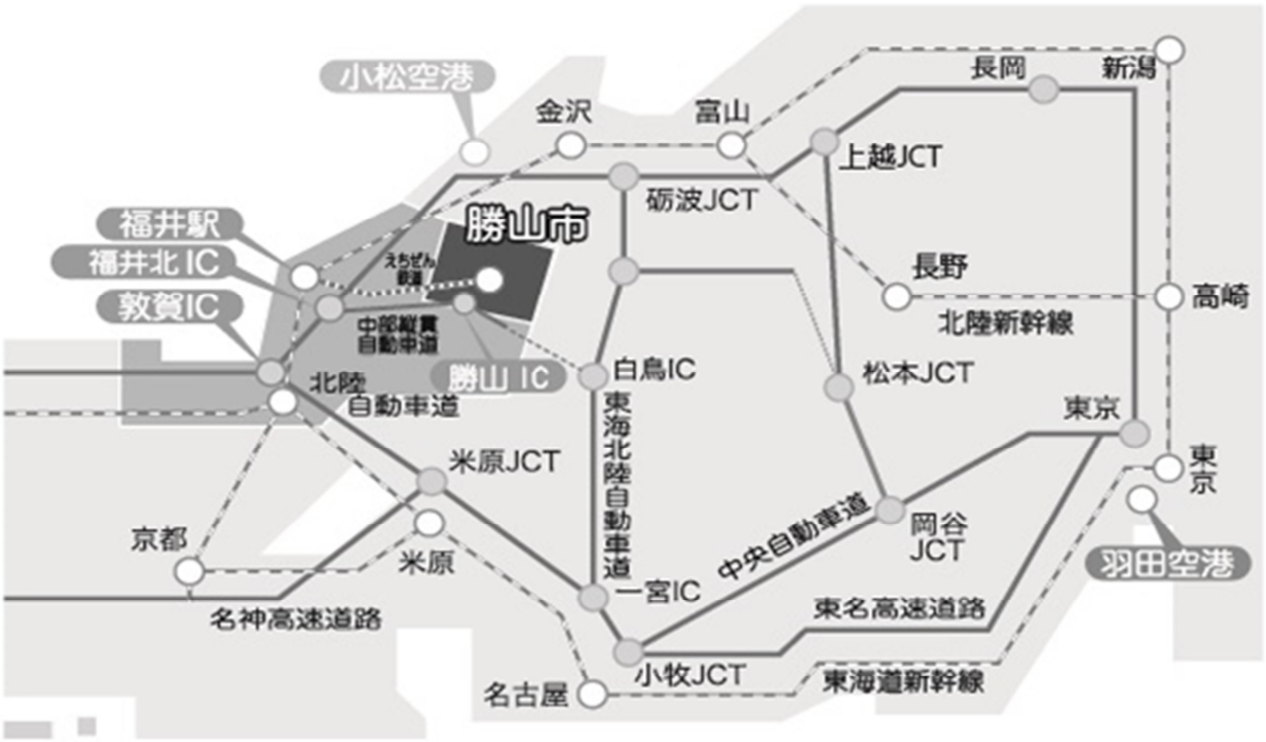
世帯数　　７，９４９　世帯

人　口　　男　　９，９８８　人

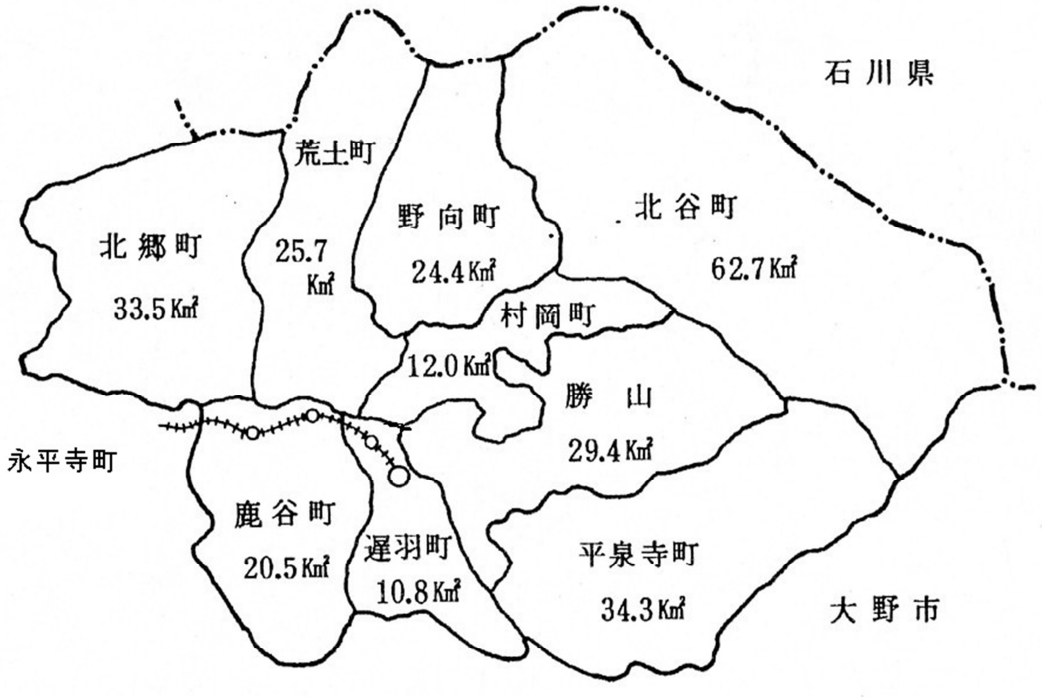
　　女　１０，８８７　人

　　計　２０，８７５　人

位　置　図

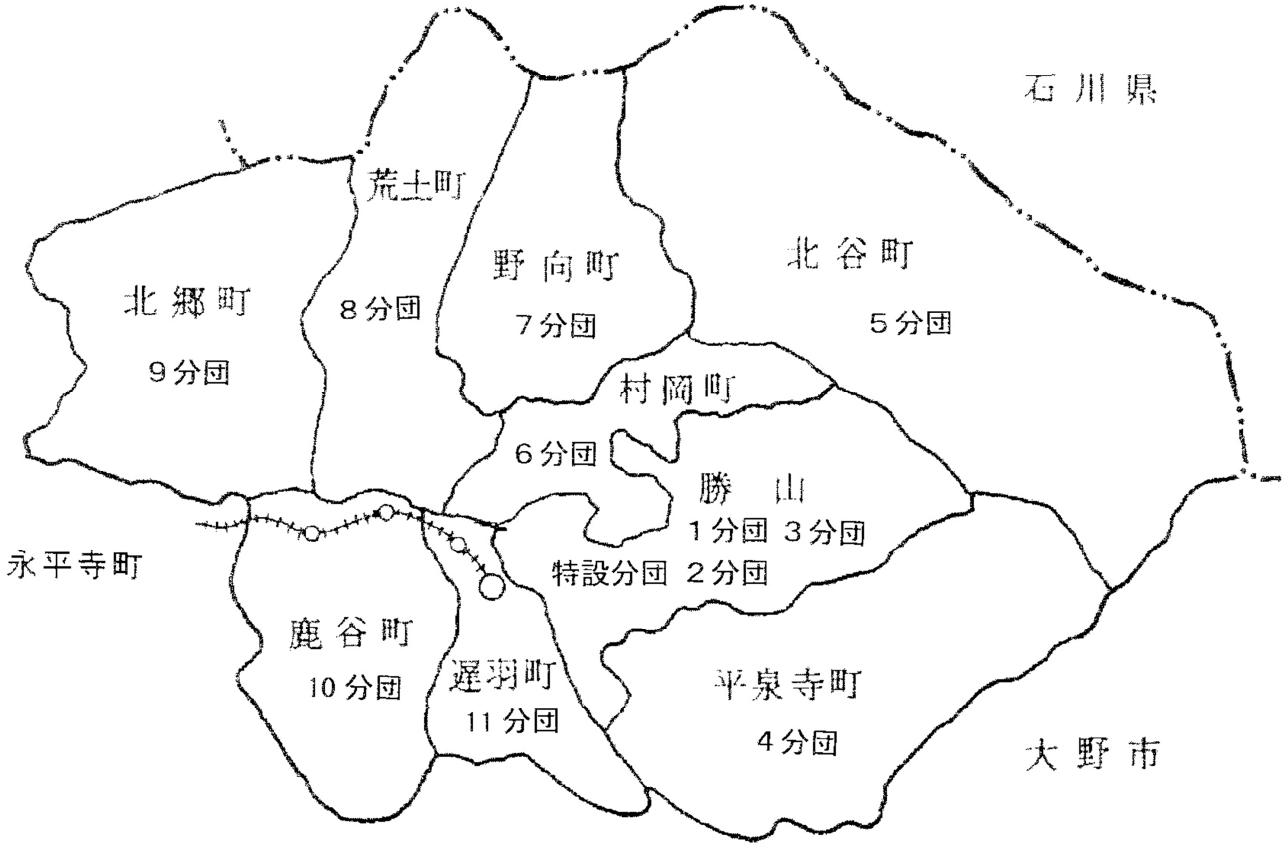


面　積（253.88㎢）



（注）勝山市の面積については、市制施行以来 253.32 ㎢としてきたが、昭和 62 年に国土地理院が全国の 25000 分の1の地図を作成した際、精査したところ 253.68 ㎢と判明した。その後国土地理院が平成 25 年度に電子国土基本図を整備し、面積計測方法を変更したところ 253.88 ㎢となった。以後はこれをもって面積としている。ただし、旧町村ごとの面積については発表されなかったため、上記の地区ごとの面積の合計は従前のとおり 253.32 ㎢となっている。

消防団（各分団管轄）


石川県
荒土町
8分団
野向町
7分団
北谷町
5分団
北郷町
9分団
村岡町
6分団
勝山
1分団 3分団
特設分団 2分団
永平寺町
鹿谷町
10分団
遅羽町
11分団
平泉寺町
4分団
大野市

２　歴代消防管理者・消防長・消防署長・消防団長

歴代消防管理者

山　内　継　喜	昭和３６．　８．　１～昭和３７．１０．１４
山　内　　譲	昭和３７．１０．１５～昭和４５．１０．１４
高　野　春　三	昭和４５．１０．１５～昭和５１．１１．１７
池　田　勤　也	昭和５１．１２．２６～昭和６３．１２．２５
今井三右衛門	昭和６３．１２．２６～平成１２．１２．２５
山　岸　正　裕	平成１２．１２．２６～令和　２．１２．２５
水上実喜夫	令和　２．１２．２６～

歴代消防長（事務取扱及び心得含む）

山　内　継　喜	昭和３６．　８．　１～昭和３７．１０．１４
山　内　　譲	昭和３７．１０．１５～昭和４５．１０．１４
高　野　春　三	昭和４５．１０．１５～昭和５１．１１．１７
池　田　勤　也	昭和５１．１２．２６～昭和６２．　３．３１
鈴　木　康　教	昭和６２．　４．　１～平成　６．　３．３１
長谷川義尚	平成　６．　４．　１～平成　９．　３．３１
今井三右衛門	平成　９．　４．　１～平成１２．　３．３１
上　山　邦　夫	平成１２．　４．　１～平成１４．　３．３１
山　岸　正　裕	平成１４．　４．　１～平成１４．　９．３０
田　中　公　夫	平成１４．１０．　１～平成１９．　３．３１
松　山　保　雄	平成１９．　４．　１～平成２０．　３．３１
三　屋　忠　男	平成２０．　４．　１～平成２２．　３．３１
吉　田　新　一	平成２２．　４．　１～平成２５．　３．３１
堂　山　信　一	平成２５．　４．　１～平成３０．　３．３１
横　山　定　守	平成３０．　４．　１～令和　２．　３．３１
本　田　康　雄	令和　２．　４．　１～令和　４．　３．３１
千　京　修　一	令和　４．　４．　１～令和　６．　３．３１
有　馬　雄　二	令和　６．　４．　１～

歴代消防署長

伊　藤　政　治	昭和３８．　４．　１～昭和４４．１１．３０
松　村　定　雄	昭和４４．１２．　１～昭和５６．　１．３０
鈴　木　康　教	昭和５６．　２．　１～昭和６２．　３．３１
藤　堂　達　海	昭和６２．　４．　１～平成　元．　３．３１
鈴　木　康　教	平成　元．　４．　１～平成　４．　３．３１
長谷川義尚	平成　４．　４．　１～平成　８．　３．３１
上　山　邦　夫	平成　８．　４．　１～平成１３．　３．３１
田　中　公　夫	平成１３．　４．　１～平成１８．　３．３１
玉　木　憲　治	平成１８．　４．　１～平成１９．　３．３１
三　屋　忠　男	平成１９．　４．　１～平成２１．　３．３１
吉　田　新　一	平成２１．　４．　１～平成２３．　３．３１
堂　山　信　一	平成２３．　４．　１～平成２５．　３．３１
横　山　定　守	平成２５．　４．　１～平成３０．　３．３１
本　田　康　雄	平成３０．　４．　１～令和　２．　３．３１
千　京　修　一	令和　２．　４．　１～令和　４．　３．３１
有　馬　雄　二	令和　４．　４．　１～令和　６．　３．３１
泉　川　一　郎	令和　６．　４．　１～

歴代消防団長

佐々木定治	昭和２９．　９．　１～昭和３８．　３．３１
道関泰雄	昭和３８．　４．　１～昭和４２．１０．　８
河合捨治	昭和４２．１０．　９～平成　元．　２．１５
西出　巌	平成　元．　２．１６～平成　３．　３．３１
松村秀紀	平成　３．　４．　１～平成１４．　３．３１
久保善央	平成１４．　４．　１～平成１５．　９．３０
米村敏男	平成１５．１０．　１～平成２２．　３．３１
中村雅彦	平成２２．　４．　１～平成３１．　３．３１
北川賢一	平成３１．　４．　１～

３　沿　革

本市では、九頭竜川の形成した河岸段丘上に、旧石器時代から人々が住んでいたことが発掘調査によって明らかとなっている。縄文時代になると生活範囲が広がり、市内各地で生活の跡が確認されている。

奈良時代に越の大徳と呼ばれた泰澄大師が開いたと伝えられる白山中宮平泉寺は、白山信仰の一大拠点として、最盛時には４８社３６堂６千坊を誇り、越前文化の中心的存在となり、商工業や文化が大いに高まり繁栄したが、天正２年（1574）、一向宗徒の焼き討ちにより一夜にしてその栄華を失った。その後、柴田勝安が一向一揆を鎮め、袋田村に勝山（袋田）城を築きこれを統治した。勝山の地名は一向一揆勢が立てこもった御立山（通称村岡山）を「勝ち山」と呼んだことから起こったといわれる。元禄４年（1691）に、小笠原氏が入封し、明治に至るまで藩政が続いた。廃藩置県後、機業が勃興し、羽二重を中心とする絹織物の製造が盛んになり、さらに昭和初期には人絹織物の導入によって織物立国を形成した。戦後は、設備の近代化、技術革新により高級合繊織物の一大産地として国内外に知られた。

行政の組織は明治の市制町村制により、現市域内に、１町９箇村が誕生。その後猪野瀬村が勝山町に編入合併され、昭和２９年（1954）９月１日、町村合併法により、勝山町、平泉寺村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村北郷村、鹿谷村、遅羽村の１町８箇村が合併し市制を施行。人口39,043人の勝山市が発足した。

昭和６３年（1988）に、手取層群の１つ北谷町杉山で、１億２千万年前の肉食恐竜の化石等が発見されて以来、この地域一帯は全国でも貴重な恐竜化石の宝庫としてクローズアップされている。平成１２年に福井県立恐竜博物館が開館し、平成１９年には日本で初めて恐竜の皮膚痕化石が発見された。令和６年度には年間入館者数が開館以来最高の１２６万４，５４１人（野外恐竜博物館含む）を記録し、令和６年１０月に通算入館者数が１，４００万人を突破した。

まちづくりの面では、市では、平成１４年に「勝山市エコミュージアム推進計画」を掲げている。これは、まち全体を屋根のない博物館（ふるさと元気博物館）とする構想で、市民が自らのまちに愛着を持ち、自然、歴史、伝統文化、あるいは産物、人的ネットワークといった地域の資源を再発見し、それらの新しい価値を見つけ発展させ、地域の誇りと元気を取り戻す計画である。令和４年からは第６次勝山市総合計画がスタートし、「わいわいわくわく　安全安心のまち　かつやま」を目指したさまざまな施策の展開を図る。

文化、観光面では、平成１８年には、史跡平泉寺を含む「霊峰白山と山麓の文化的景観」を世界遺産の暫定リストへの登録申請を行った。平成２４年１０月には、「白山平泉寺歴史探遊館まほろば」が、平泉寺及び白山の歴史、自然及び文化を紹介する拠点としてオープンし、令和５年７月には入館者が３６万人を突破した。また、令和７年５月には平泉寺白山神社三十三年祭が実施される。平成２１年７月に、近代化産業遺産に認定された「はたや記念館ゆめおーれ勝山」が、まちなか誘客の拠点としてオープンし、令和５年５月には入館者１３０万人を達成した。

福祉及び子育て支援では、勝山市の高齢化率が３８．７％（令和６年４月１日現在）と高齢化が進んでいるなか、平成１７年にオープンした福祉健康センター「すこやか」が、市民の地域福祉活動と健康づくりの拠点として親しまれる施設の充実を図っている。また、誰もが夢と希望を持って子育てができる環境を整えた「子育て環境日本一」を目指してさまざまな子育て支援施策を展開しているが、令和７年５月からは、子どもたちが自由に学べる環境を整え、より良い学びの機会を提供するため応援金１１５事業が開始された。

４　消防の沿革

勝山市消防の起源は、今より約２５０年前延亨３年３月に始まっている。

当時再三の大火により、同時代の藩主小笠原６代目長教公より非常用水籠３００ケ賜ったのを契機として、とび組といえる町廻り番を創設されたのが消防の前身である。

その後、安政２年藩主長守公の時代に消防組を青黄赤白黒の５色組に再編成し以来いろは組天地人組等に変遷をなした。

一方消防施設については、大正３年に蒸気消防ポンプ１台が配置され、同７年にはガソリン消防ポンプ１台の配置を契機として２台の寄付を含め昭和１０年には合計９台の最新式消防ポンプを備え、消防機械においては県下一の陣容を誇っていた。

昭和２０年６月には勝山町に消防常備部が新設され、常勤機関員を配置するなど消防機構の充実を図り時代の情勢により大きく進展しているが、以下は次表のとおりである。

昭和２０年　常備部を新設し常勤機関員３名配置

昭和２３年　常備部を常備分団に改め常勤団員３名増員し６名となる。警防団９ケ分団で９００名の団員となる

昭和２５年　国家消防本部より表彰旗授与

昭和２６年　水槽付消防ポンプ自動車１台購入

昭和２９年　１町８ケ村（勝山町、平泉寺村、北谷村、野向村、村岡村、荒土村、北郷村、鹿谷村、遅羽村）の合併により市制が施行され、勝山市消防団が設置され常備分団の常備団員３名増員し９名となる

地域の防火体制の充実を図るため、自衛消防隊用可搬式小型動力ポンプ５台購入し各集落へ配備

消防団組織　１団１２ケ分団　団員　４００名

消防力	消防ポンプ自動車	３台
	水槽付消防ポンプ自動車	１台
	三輪消防ポンプ車	４台
	積載小型動力ポンプ	３台
	手引動力ポンプ	３台
	可搬式小型動力ポンプ	５台（自衛用）

昭和３０年　自衛消防隊の消防力強化を図るため可搬式小型動力ポンプ整備年次計画策定

昭和３５年　消防団の消防力強化のため消防ポンプ自動車を購入及び更新

現有消防力は、消防ポンプ自動車　８台

水槽付消防ポンプ自動車　　１台
三輪消防ポンプ車　　３台
積載小型動力ポンプ　　５台
手引動力ポンプ　　２台
手引小型動力ポンプ（台車）　５台
可搬式小型動力ポンプ　　３４台（自衛用）である

昭和３６年　消防本部、署を設置し常備職員を消防本部及び署の消防職員とし、常備分団を廃止し特設分団に改める
日本損害保険協会より消防ポンプ自動車１台寄贈
現有消防力
消防本部、署　消防職員　　９名
消防ポンプ自動車　　４台
水槽付消防ポンプ自動車　　１台
積載小型動力ポンプ　　２台
消防団　団員（１２ケ分団）　　４００名
消防ポンプ自動車　　６台
三輪消防ポンプ車　　３台
手引動力ポンプ　　２台
積載小型動力ポンプ　　３台
手引小型動力ポンプ（台車）　５台
自　衛　可搬式小型動力ポンプ　　４８台

昭和３７年　消防職員５名増員、総員１４名
消防庁舎の建設
可搬式小型動力ポンプ６台購入、合計５４台

昭和３８年　消防職員８名増員、総員２２名
積載小型動力ポンプ１台購入、合計３台
消防本部、署の設置政令指定を受ける
豪雪により、甚大な被害を受ける

昭和３９年　消防職員４名増員、総員２６名
消防庁長官より消防力拡充強化優良消防本部表彰を受賞し表彰旗伝達される

昭和４１年　福井精練㈱より水槽付消防ポンプ自動車１台寄贈
消防本部、署の消防力

消防ポンプ自動車　　４台

水槽付消防ポンプ自動車　２台

積載小型動力ポンプ　　３台

自衛消防隊可搬式小型動力ポンプ　　５８台　となる

昭和４２年　救急業務開始（任意）

業務連絡用ジープを改造し救急業務を実施

積載小型動力ポンプ１台増強、合計４台

昭和４３年　消防団第８分団ポンプ自動車廃車し、消防本部車を配備

昭和４４年　救急業務政令指定を受け救急隊員を任命

消防本部用消防ポンプ自動車（ＢＤ－１）１台購入

消防団第６分団三輪消防ポンプ車廃車し、消防本部車を配備

自衛消防隊可搬式小型動力ポンプ合計７０台となる

昭和４５年　消防職員２名増員、総員２８名

消防相談所開設、市民防火の日制定

林野火災用トラック１台配備

消防団の機動力増強のため、可搬式小型動力ポンプ付積載車配備年次計画を策定

日本自動車工業会より救急自動車寄贈

消防署所属消防ポンプ自動車を消防団特設分団へ配備

消防団機動力整備年次計画初年度として、第６、７、８分団に配備し更新

昭和４６年　消防広報公聴活動の推進要綱制定

小型動力ポンプ付積載車１台購入し消防団第５分団に配備

昭和４７年　水槽付消防ポンプ自動車（高発泡器付）更新し消防署に配備

集団災害における救急医療実施計画策定

クレーン車利用による救出救助用ゴンドラ開発

防火水槽安全対策年次計画策定

県下消防操法大会ポンプ車の部で第２分団入賞

昭和４８年　勝山市消防団定数改訂により２７５名となる

消防職員３名増員、総員３１名

消防相談連絡所開設

焼死事故防止対策として老人家庭指導専従員任命

ロータリークラブより老人家庭用火災警報機寄贈

勝山ライオンズクラブより防火指導車（ライオンズ号）及び山林火災用小型ポンプ

（Ｄ－１級）一式寄贈

ジープ型消防ポンプ自動車（夜間照明付）を消防本部、署に配備

小型動力ポンプ付積載車を第１、２、９分団に配備

昭和４９年　消防本部、署の機構改革により警防係を警防第１係、警防第２係とする

婦人防火モデル地区の設定

小型動力ポンプ付積載車を第４、１０分団に配備

昭和５０年　第１、２分団の小型動力ポンプ更新

日本消防協会より救急自動車寄贈

第１分団ポンプ庫を立川町に移転改築

昭和５１年　小型動力ポンプ付積載車を第９分団に配備し第１次消防団機動力整備計画完了

県総合防災訓練を弁天河原にて実施

消防団員の処遇改善として２年計画により全員に雨衣貸与

昭和５２年　ジープ型指令車更新

消防団団旗更新

県下消防操法大会自動車の部で第８分団入賞

日本防火協会より少年消防クラブ員の制服及び鼓笛隊の楽器一式寄贈

昭和５３年　東京海上火災㈱より防災広報車「みずたま号」寄贈

自衛消防施設整備事業補助金交付要綱を制定し地元負担の軽減を図る

消防本部、署所属消防ポンプ自動車更新

日本損害保険協会より消防ポンプ自動車ＢＤ－１「火災保険号」寄贈

勝山ライオンズクラブより防火指導車（ライオンズ号）及び山林火災用小型ポンプ一式寄贈（更新）

県下消防操法大会ポンプ車の部で第９分団入賞

第１１分団ポンプ庫改築

昭和５４年　消防団の処遇改善として各種手当改訂

消防団分団旗更新

消防本部、署の機構改革により庶務、予防、警防の３課とする

県下消防操法大会ポンプ車の部で第１０分団入賞

消防団施設第２次整備計画策定

第７、９分団ポンプ庫改築

昭和５５年　日本消防協会より優良消防団表彰受賞

県下消防操法大会小型ポンプの部で第５分団優勝

第７回全国消防操法大会に第５分団出場

日本防火協会より防火広報車寄贈

第６、８分団ポンプ庫改築

小型動力ポンプ付積載車を特設分団に配備

昭和５６年　「走りやんこ」勝山市の民俗無形文化財に指定

消防団の処遇改善として各種手当改訂

北陸製薬㈱より救急訓練用モデルセット寄贈

第９、１０分団ポンプ庫改築

焼死事故防止強化策としてファイヤーヘルパー制度樹立

豪雪により甚大な被害を受ける

昭和５７年　越前信用金庫より救急車両（信金号）寄贈

第３、５分団ポンプ庫改築

３部制の試行を１部導入　４名×３班

昭和５８年　深谷病院より心肺蘇生法実技訓練用人体モデルセット（２セット）及び患者移送用保温バック一式寄贈

第４分団ポンプ庫改築

勝山ライオンズクラブより防火指導車（ライオンズ号）寄贈（更新）

昭和５９年　パーソナルコンピューター一式寄贈

３部制職員を増員し業務の能率化を図る　５名×３班

職員１名増員、条例定数３２名

市制３０周年、消防団発足３０周年記念「防火のつどい」が日本防火協会の共催にて開催

日本消防協会より婦人消防隊用軽可搬式ポンプ３台寄贈

県下消防操法大会ポンプ車の部で第７分団優勝

第２分団ポンプ庫改築し全分団の車庫がコンクリートブロック造とする

昭和６０年　消防団員の処遇改善として、各種手当改訂

日本消防協会より婦人消防隊用軽可搬式ポンプ１台寄贈、合計４台

日本消防協会より広報指令車寄贈

消防団第７、８分団の可搬式小型動力ポンプＢ－２級に更新

水防倉庫を移転新築、水防資材備蓄搬出の効率化を図る

県総合防災訓練を栄町１丁目及び勝山橋下流弁天河原にて実施

勤務体制を完全３部制に移行、日常業務の充実を図る（９人×３部）

昭和６１年　消防団第５、６分団可搬式小型動力ポンプＢ－２級に更新

日本消防協会より婦人消防隊用軽可搬式ポンプ２台寄贈、合計６台

消防団員の定年制導入

昭和６２年　専任消防長任命

日本消防協会より婦人消防隊用軽可搬式ポンプ２台寄贈、合計８台

前田建設株式会社より越前大仏落慶記念として、軽可搬式ポンプ４台寄贈、市内福祉施設に配備

消防緊急情報システム導入

消防団第７、８分団小型動力ポンプ積載車更新

昭和６３年　消防団の処遇改善として各種手当改訂

救助業務政令指定を受け救助隊員任命

勝山ライオンズクラブより防火査察指導車１台寄贈（更新）

消防団第４分団（４輪駆動）、第１１分団の小型動力ポンプ積載車更新

平成元年　大阪相互タクシー株式会社より２５米級梯子付消防ポンプ自動車寄贈（仮設車庫含む）

四輪駆動消防ポンプ自動車（ＣＤ－１）を更新し消防署に配備

非常通報体制の確立（学校）

勝山市災害弱者緊急通報システム導入（端末器５０台設置）

職員１名増員、条例定数３３名

消防車両用車庫増築

各署員、分団幹部へ無線受令機配備

日本消防協会より婦人消防隊用軽可搬式ポンプ２台寄贈、合計１０台

消防団第５分団（四輪駆動）第６分団の小型動力ポンプ積載車更新

日本損害保険協会より救助工作車（Ⅱ型）寄贈

北陸製薬株式会社より救急自動車（２Ｂ型）寄贈

平成２年　消防職員の処遇改善として４週６休完全実施

日本損害保険協会より救急自動車（２Ｂ型）寄贈

第２水防倉庫（北郷町東野１８－３０）改築（３３．４㎡）

新消防庁舎建築着工

県下消防操法大会ポンプ車の部で第１０分団２位入賞

日本消防協会より婦人消防隊用軽可搬ポンプ２台寄贈、合計１２台

消防団第１、９分団の小型動力ポンプ付積載車更新

消防団活動強化事業開始（３ヶ年計画）（県費補助対象事業）

消防団分団旗（１２ヶ分団）更新

勝山市災害弱者緊急通報システム端末器５０台設置（１００台になる）

平成３年　消防団員の処遇改善として各種手当改訂

新消防庁舎落成（長山町２丁目２－７）

消防団第２、１０分団の小型動力ポンプ積載車更新

小笠原公入封３００年祭記念行事「走りやんこ」開催

消防団初の女性団員誕生（３名）

勝山市消防本部発足３０周年記念、勝山市防火推進大会が日本防火協会共催で開催

四輪駆動消防ポンプ自動車（ＣＤ－１）を消防署に配備

勝山市災害弱者緊急通報システム端末器８０台設置（１８０台になる）

平成４年　勝山ロータリークラブより環境保全用樹木寄贈

日本消防協会より婦人消防隊用軽可搬ポンプ１台寄贈、合計１３台

日本防火協会より勝山市婦人防火クラブへ防火広報車１台寄贈

四輪駆動消防ポンプ自動車（ＢＳ－１）を消防団第９分団に配備

消防団女性団員８名入団、総員１１名

平成５年　職員４名増員、条例定数３７名

消防団女性団員１１名入団、総員２２名

日本消防協会より婦人消防隊用軽可搬ポンプ１台寄贈、合計１４台

日本消防協会より防災用緊急伝達機材（無線機５台、拡声器２台）寄贈

日本防火協会より幼年消防クラブへ鼓笛隊セット一式寄贈

勝山市危険物安全協会発足３０周年記念大会が開催

平成６年　日本消防協会より婦人消防隊用軽可搬ポンプ１台寄贈、合計１５台

第１８回婦人防火全国大会が福井市で開催され、演技出演する

県下消防操法大会ポンプ車の部で第６分団優勝

日本消防協会より消防指令広報車の寄贈を受け消防広報１号車更新

ジープ型指令車更新

財団法人自治総合センターより防災教育用資機材一式助成

第１４回全国消防操法大会に第６分団出場

平成７年　阪神淡路大震災発生、災害救助応援隊を神戸市へ派遣

日本消防協会より小型動力ポンプ積載車寄贈

県防災総合訓練を震災時の対応を中心として、中央公園及び弁天緑地で実施

全国女性団員活性化宮崎大会に（特別委員）参加

平成８年　消防団第３、４分団ポンプ庫を移転

日本消防協会より婦人消防隊用軽可搬ポンプ１台寄贈、合計１６台

第１２回全国婦人消防操法大会に福井県代表として野向町竜谷婦人消防隊が出場

耐震性防火水槽１００ｍ^{3}１基をあさひ公園（旭町３丁目）に設置

福井県防災行政無線再整備の衛星波を設置

応急手当の普及啓発活動実施計画を制定して、応急手当指導員を認定し、救命講習受講者に対して修了証を交付する

消防職員委員会が発足し、初の委員会開催

平成９年　救急救命士研修２名修了

救助機械器具として油圧救助器具、大型油圧スプレッダー等５点整備

耐震性防火水槽１００ｍ^{3}１基（元町２丁目）増設、合計２基

水槽付ポンプ車（１，５００Ｌ）更新

消防相互応援協定に基づき、松任石川広域事務組合消防本部と白峰村にて合同訓練実施

平成１０年　福井県防災ヘリコプター乗務隊員１名派遣

耐震性防火水槽１００ｍ^{3}１基（郡町）増設し、市街地（南部、中心部、北部）合計３基となる

松任石川広域事務組合と北谷町河合地係に於いて集団災害合同訓練実施

救急救命士研修２名修了

高規格救急車導入、救命率の向上を図る

福井県防災ヘリコプターを使用しての救急搬送合同訓練を実施

携帯電話１１９番受付転送業務開始（大野地区消防組合消防本部代表受信）

平成１１年　全国女性消防団員中央研修大会（東京）に参加

消防相互応援協定に基づき、大野地区消防組合消防本部と片瀬町にて合同訓練実施

コンピュータ西暦２０００年問題で消防緊急通信指令施設の危機管理体制を実施

火災件数は消防本部設置以来（Ｓ３６年）最低（3件）を記録

救急救命士研修１名修了

平成１２年　恐竜エキスポふくい２０００に８０万余名が来勝、消防職、団員延べ４４０人を動員、消防警備に万全を期す

火災件数が平成２年以来の多発、焼死者２名

全国的に救急出場件数が増加、当市においても過去最高の６６１件の救急出場とな

る

救急救命士研修１名修了

消防本部旗更新

公務災害防止対策推進事業助成を受け、全消防団員の活動長靴を更新

日本消防協会より応急手当訓練用資機材助成

平成１３年　京福越前本線発坂～保田駅間で上り、下り電車が正面衝突し、負傷者２５名救出、搬送。大野地区消防本部、吉田地区消防組合消防本部へ救急隊の応援要請をする

自治総合センターよりイベント用放送設備、広報活動用デジタルビデオカメラ一式助成

福井県消防操法大会ポンプ車の部で第４分団優勝

消防本部・署発足４０周年記念式典開催

梯子車の保守点検委託実施

平泉病院より心肺蘇生人形及び外傷キット寄贈

全国女性消防団員中央研修大会（東京）に２名参加

平成１４年　勝山市消防団が消防庁長官より「消防団地域活動表彰」受賞

市の機構改革により、グループ制導入

初の女性消防吏員採用

久保新団長より消防団旗寄贈

消防吏員に新基準の被服導入

勝山市総合防災訓練実施

北谷町木根橋地係地すべり警戒体制をとる

福井県消防操法大会ポンプ車の部で第１０分団優勝

第１８回全国消防操法大会に第１０分団出場

水防自動車を購入、消防署に配備

四輪駆動消防ポンプ自動車（ＢＤ－１）を消防団第３分団に配備

四輪駆動消防ポンプ自動車（ＣＤ－１）を更新、消防団特設分団に配備

平成１５年　日本消防協会より指令車（ジープ型）の寄贈を受け、指令２号車を更新

救急救命士研修１名修了

消防本部組織改革により３課１室となる（通信指令室　増）

救急消毒室を新設

特設分団庫を移転新築

平成１６年　加越国境冬山登山遭難事故により、１４人救出、搬送。

（緊急援助隊として、福井地区消防本部、大野地区消防本部、吉田地区消防組合消防本部、併せて、福井県防災ヘリ、富山県防災ヘリ、航空自衛隊小松救難隊の協力を得た。）

福井豪雨の応援隊４隊派遣

福井県消防操法大会ポンプ車の部で第１１分団優勝

福井県総合防災訓練（豪雨等のため中止）

日本損害保険協会より脊推固定器具（ショート・ボード）寄贈

勝山市消防団５０周年記念大会開催

日本消防協会より消火訓練用放射器具・模擬消火訓練装置セットの助成を受ける

平成１７年　救急救命士研修１名修了

福井県総合防災訓練実施

携帯１１９直接受信開始

豊栄観光㈱よりＡＥＤトレーナ・本体セット一式寄贈

日本消防協会より液晶プロジェクター一式及び軽可搬式ポンプ一式の助成を受ける

平成１８年　豪雪により甚大な被害を受ける（雪害対策室設置）

消防広報車（軽自動車）購入

消防団員に新基準の活動服導入

日本消防協会より防火広報のぼり旗及び軽可搬式ポンプ一式の助成を受ける

石川県能登半島地震に伴う緊急消防援助隊１隊派遣

平成１９年　福井県防災ヘリコプターへ副隊長で１名派遣

高規格救急車１台購入　　高規格救急車２台での運用となる

平成２０年　消防団幹部候補中央特別研修（東京）に女性消防団員２名が参加

消防団第７、８分団小型動力ポンプ付積載車更新

消防団第７、８分団小型動力ポンプ付積載車更新に伴いポンプ庫を新築

平成２１年　日本消防協会より防災活動車（ワゴン型）の寄贈を受け、広報３号車を更新

消防団第６、１１分団小型動力ポンプ付積載車を更新

消防団第６分団小型動力ポンプ付積載車更新に伴いポンプ庫を新築

消防団ラッパ隊再編成

消防職員防火服更新（３７着）

勝山市防災行政無線運用開始

勝山市緊急メールシステム運用開始

消防団協力事業所表示制度を開始

平成２２年　消防団第１、５分団小型動力ポンプ付積載車更新

消防団第１、５分団小型動力ポンプ付積載車更新に伴いポンプ庫更新

消防団第４分団総務省消防庁より、救助資器材搭載型車を借受

平成２３年　緊急通報指令システムを更新、携帯・IP 電話からの位置情報通知システム運用開始

女性消防団員を応急手当普及員に認定

東日本大震災に伴う緊急消防援助隊で岩手県陸前高田市へ４次隊（１９名）派遣

救急救命士研修１名修了

勝山市消防本部・署発足５０周年行事開催

消防団第２、９分団小型動力ポンプ付積載車更新

消防団第２，９分団小型動力ポンプ付積載車更新に伴いポンプ庫を新築

消防団安全対策として、各分団にライフジャケット計６０個配備

消防救急無線デジタル化に伴う伝搬調査・基本設計

平成２４年　救助工作車（Ⅱ型）更新

女性消防団員リーダー会議（東京）に１名参加

第１２回消防団幹部候補中央特別研修（東京）に２名参加

消防団第１０分団小型動力ポンプ付積載車更新

消防団第１０分団小型動力ポンプ付積載車更新に伴いポンプ庫を新築

中部縦貫自動車道永平寺大野道路併用開始

消防救急デジタル化に伴う実施設計

平成２５年　福井県消防操法大会ポンプ車の部で第４分団優勝

職員１名増員、条例定数３８名

高規格救急車１台購入（予備車を含め、高規格救急車３台での運用となる）

消防団特設分団ＣＤ－１ポンプ自動車購入

消防救急デジタル無線設備整備

消防庁舎屋上防水工事

救急救命士研修１名修了

平成２６年　指揮車１台購入

消防庁舎自家発電機を更新

高圧コンプレッサーを購入

福井県総合防災訓練を実施

救急救命士研修１名修了

平成２７年　機能別消防団員の導入（４月１日）

恐竜王国　ＦＩＲＥ　ＬＡＤＹ（女性消防団員の愛称決定）

第２２回全国女性消防操法大会出場

小型動力ポンプ付積載車購入

ホースタワー更新

救急救命士研修１名修了

消防団の処遇改善として出動手当の増額

平成２８年　福井県防災ヘリコプターへ隊員で１名派遣

消防ポンプ自動車（CD-1）購入

救急救命士研修１名修了

平成２９年　消防職員条例定数４名増、４２名

消防団の処遇改善として年間報酬と各種手当の増額

消防広報車（軽自動車）購入

救急救命士研修１名修了

消防団第９分団ポンプ庫統合によるポンプ庫移転

気象観測装置更新

平成３０年　水槽付ポンプ車（２１００Ｌ）更新

日本損害保険協会より小型動力ポンプ付軽消防自動車寄贈

Ｊ－アラート更新

救急救命士研修１名修了

平成３１年　災害対応特殊救急自動車　更新

(令和元年)　緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練　サブ会場として実施

緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練　実行委員会　職員派遣１名

救急救命士研修１名修了

令和２年　消防団第３分団ポンプ車（ＣＤ－１）更新

通信指令システム指令台更新

救急救命士研修１名修了

令和３年　はしご車を更新し、多目的消防ポンプ自動車を配備

仮眠室を個室化

令和４年　消防団の充実強化に向け年額報酬の増額

福井県総合防災訓練を実施

救急救命士研修１名修了

令和５年　消防団第１０分団庫移転

消防団の処遇改善として出動手当の増額

令和６年　能登半島地震に伴う緊急消防援助隊での石川県珠洲市へ３次隊（１２名）派遣

能登半島地震に伴う福井空港救急搬送支援へ６名派遣

能登半島地震に伴う消防組織法第３９条の規定に基づく相互協定で奥能登広域圏事務組合消防本部（珠洲消防署）へ２次隊（６名）派遣

能登半島豪雨に伴う緊急消防援助隊での石川県珠洲市へ２次隊（８名）派遣

勝山市制７０周年記念・勝山市消防団発足７０周年記念消防訓練を実施

消防団員の保安帽を一部更新

消防職員の防火衣を更新

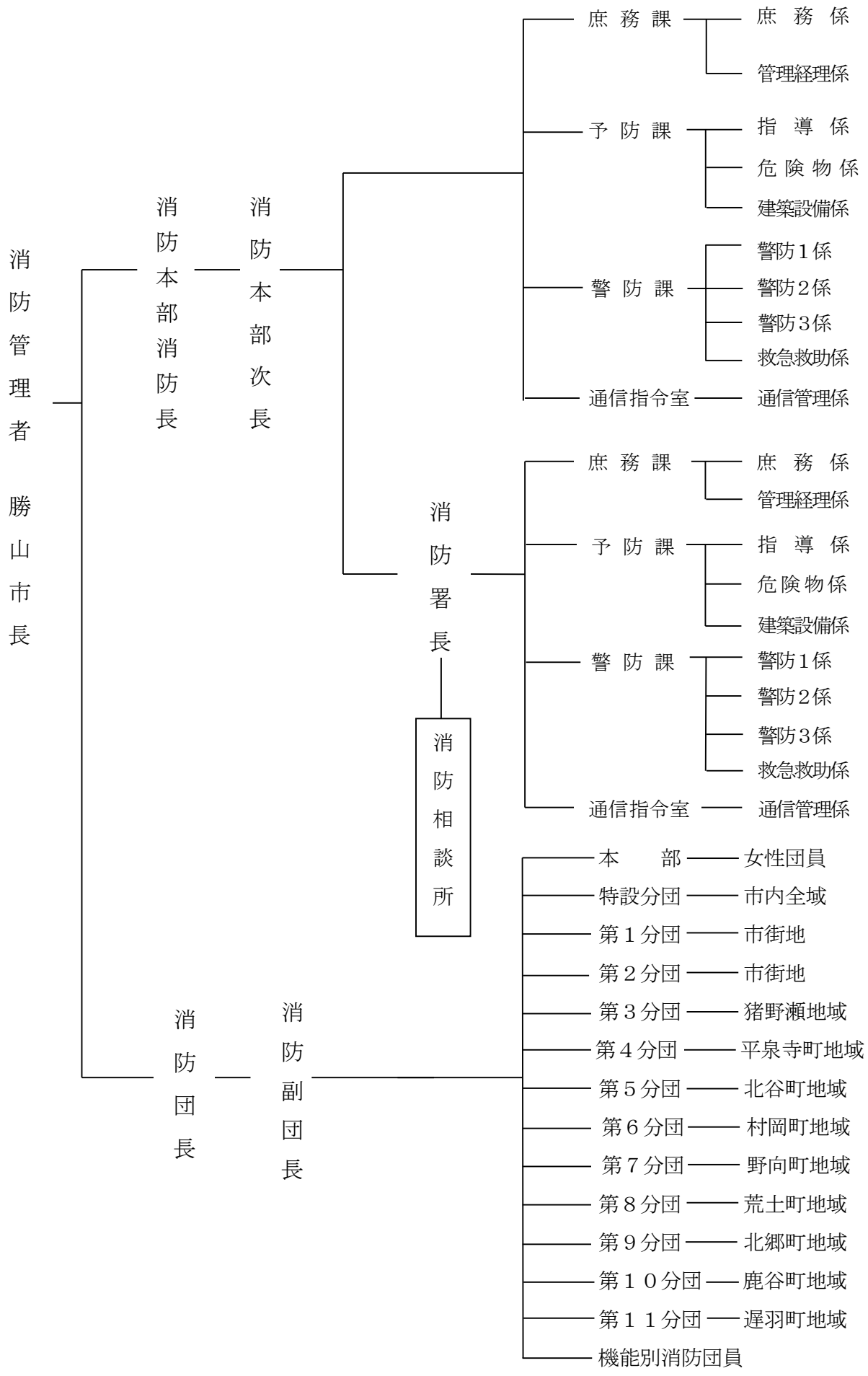
救急救命士研修１名修了

５　大火と災害記録

１	明治２６年	１月	鹿谷村矢戸口	１５棟焼失
２	明治２９年	４月１３日	勝山町立石より出火	全焼 1,120 戸　焼死者 5 名　負傷者 32 名
３	明治３１年	４月１６日	鹿谷村保田	全焼　６３戸
４	明治３７年	８月２１日	遅羽村大袋	２７棟焼失
５	大正　３年	７月２５日	鹿谷村本郷	全焼　２２戸
６	大正　８年	５月２６日	鹿谷村保田	民家　６０戸
７	昭和　８年	７月２５日	勝山町下元禄	小学校　役場　幼稚園　民家　７９９坪
８	昭和　８年	７月２６日	勝山町中後	寺院　１６９坪
９	昭和１０年	９月２３日	勝山町上元禄	工場　７棟　２，５６４坪
１０	昭和１３年	５月１５日	野向村竜谷	民家　２６戸
１１	昭和２２年	４月　６日	村岡村寺尾	民家　１０戸
１２	昭和２３年	１２月３１日	鹿谷村矢戸口	民家　１３戸
１３	昭和２５年	８月２０日	平泉寺村平泉寺	全焼　１９棟　半焼　４棟
１４	昭和２６年	８月２０日	北郷村東野	民家　２５戸
１５	昭和２６年	８月２５日	勝山町下元禄	勝山中学校　勝山高校焼失
１６	昭和２７年	５月１６日	村岡村郡	全焼　５棟
１７	昭和２８年	１月　２日	勝山町沢	工場　６棟　７９２坪焼失
１８	昭和２９年	１月２６日	北郷村伊知地	全焼　４棟
１９	昭和２９年	９月３０日	野向町竜谷	野向小中学校　１２５坪焼失
２０	昭和３２年	１２月１７日	上後	ダンスホール等全焼　５棟
２１	昭和３３年	３月１４日	北谷町中尾	民家　９戸全焼
２２	昭和３４年	６月２５日	郡（本町４丁目）	給油所火災　全半焼　５棟
２３	昭和３４年	９月		伊勢湾台風
２４	昭和３６年	９月		第２室戸台風
２５	昭和３７年	７月２８日	鹿谷町保田	全焼　５棟　半焼　１棟
２６	昭和３８年	１月		３８豪雪
２７	昭和３９年	１月　８日	遅羽町蓬生	全焼　３棟　半焼　１棟
２８	昭和３９年	８月１０日	平泉寺町小矢谷	全焼　３棟
２９	昭和４０年	１月２０日	鹿谷町本郷	工場　２３８㎡
３０	昭和４０年	９月		４０．９三大風水害
３１	昭和４２年	３月１６日	元町１丁目	工場　２棟　５３２㎡全焼
３２	昭和４３年	２月　８日	野向町竜谷	公民館　２４８㎡　全焼
３３	昭和４４年	５月　１日	野向町聖丸	全焼　４棟　半焼　２棟
３４	昭和４５年	１月　３日	村岡町浄土寺	民宿　２棟　２１２㎡全焼
３５	昭和４５年	４月２５日	野向町牛ヶ谷	全焼　７棟　林野　２８８ａ焼失
３６	昭和４５年	５月	野向町	連続不審火
３７	昭和４５年	７月　７日	野向町竜谷	小学校　４８２㎡全焼
３８	昭和４５年	１２月１７日	本町１丁目	全焼　３棟　半焼　１棟　死者　１名
３９	昭和４７年	６月１７日	鹿谷町発坂	工場　６１９㎡全焼
４０	昭和４９年	２月　８日	北谷町中尾	工場　３２６㎡全焼
４１	昭和４９年	２月１１日	村岡町寺尾	旅館　６６６㎡全焼
４２	昭和５１年	１０月３０日	北郷町坂東島	工場　４棟　５８７㎡全焼
４３	昭和５４年	４月１８日	遅羽町比島	工場全焼　５棟　半焼　１棟
４４	昭和５４年	４月２３日	野向町横倉	山林　２，０００ａ焼失
４５	昭和５６年	１月		５６豪雪
４６	昭和５６年	４月３０日	本町２丁目	全焼　３棟　半焼　１棟　負傷者　１名
４７	昭和５６年	７月		集中豪雨
４８	昭和５６年	１０月　５日	立川町１丁目	工場　３棟　３８０㎡全焼
４９	昭和５６年	１２月１３日	昭和町１丁目	工場　３棟　５４６㎡全焼

５０	昭和５７年	２月１５日	平泉寺町小矢谷	牛舎　６６４㎡全焼
５１	昭和５７年	７月３０日	村岡町寺尾	旅館　２棟　２１５㎡全焼
５２	昭和５７年	１２月　６日	村岡町滝波	住宅全焼　１棟　死者　３名　負傷者　２名
５３	昭和５８年	２月２０日	勝山市雁ヶ原	スキーロッヂ　５１３㎡全焼
５４	昭和６０年	５月　４日	本町４丁目	住宅全焼　３棟　半焼３棟
５５	昭和６１年	４月１６日	鹿谷町本郷	保育園全焼　死者　３名　負傷者　１名
５６	昭和６１年	５月　３日	北谷町五所ヶ原（国道１５７号線谷トンネル入り口）	
				大規模土石流発生　　死者１名　負傷者２名
５７	昭和６２年	４月　５日	荒土町松ヶ崎	独居老人家庭全焼　焼死者　１名
５８	昭和６３年	７月１２日	成器南小学校火災不審火	
			元町３丁目他	連続不審火
５９	平成　２年	５月１８日	栄町４丁目	工場　１棟　６６５㎡全焼
６０	平成　６年	３月　２日	荒土町中清水	住宅全焼　死者　１名
６１	平成　６年	３月　４日	北郷町伊知地	住宅半焼　死者　１名
６２	平成　６年	８月１５日	遅羽町比島他	連続不審火
６３	平成１０年	８月		集中豪雨
６４	平成１２年	１月２５日	元町３丁目	住宅全焼　２棟　部分焼　１棟　死者　１名
６５	平成１２年	３月２１日	元町２丁目	住宅部分焼　１棟　死者　１名
６６	平成１３年	６月２４日	鹿谷町保田	京福電車衝突事故　負傷者　２５名
６７	平成１４年	７月　６日	荒土町清水島	住宅全焼　死者　１名
６８	平成１４年	７月１３日	北谷町木根橋	地すべり発生
６９	平成１６年	２月　７日	大長山	加越国境冬山登山遭難事故
		～２月　９日		負傷者　１４名
７０	平成１７年	１２月		平成１８年豪雪
		～平成１８年２月		
７１	平成２３年	１月～２月		勝山市雪害対策室設置
７２	平成２４年	１月１０日	北郷町東野	山斜面崩落
７３	平成２４年	１月～２月		勝山市雪害対策室設置
７４	平成２７年	２月１７日	鹿谷町杉俣	住宅全焼　死者　１名
７５	平成２８年	９月２０日	昭和町３丁目	水災害
７６	平成３０年	２月		平成３０年豪雪
７７	平成３０年	２月　５日		勝山市雪害対策室設置
７８	平成３０年	２月　７日		勝山市雪害対策本部設置
７９	平成３０年	５月　７日	野向町北野津又	住宅全焼　死者　１名
８０	令和　元年	９月２４日	昭和町３丁目	住宅全焼　死者　１名
８１	令和　２年	１月		新型コロナウイルス感染拡大
８２	令和　３年	１月		令和３年豪雪
８３	令和　３年	１月　８日		勝山市雪害対策室設置
８４	令和　３年	１月　９日		勝山市雪害対策本部設置
８５	令和　３年	４月２７日	鹿谷町保田	保田経ヶ岳　山林火災
８６	令和　３年	６月　４日	遅羽町比島	工場火災　爆発　負傷者３名
８７	令和　４年	１月２１日		勝山市雪害対策室設置
８８	令和　４年	４月１３日	鹿谷町志田	住宅全焼　死者　１名
８９	令和　４年	６月　２日	平泉寺町平泉寺	経ヶ岳　山林火災
９０	令和　４年	８月　４日		集中豪雨　勝山市災害対策本部設置
９１	令和　４年	１２月　８日	下毛屋	住宅半焼　死者　１名
９２	令和　５年	１月３０日		勝山市雪害対策室設置
９３	令和　５年	７月１３日		集中豪雨　勝山市災害対策本部設置
９４	令和　５年	１２月１８日	滝波町２丁目	住宅全焼　死者　１名
９５	令和　６年	４月２８日	旭毛屋町	共同住宅火災　死者　１名
９６	令和　７年	２月　８日		勝山市雪害対策室設置

6　消防の組織


消防管理者
勝山市長
消防本部消防長
消防本部次長
庶務課
庶務係
管理経理係
予防課
指導係
危険物係
建築設備係
警防課
警防1係
警防2係
警防3係
救急救助係
通信指令室
通信管理係
消防署長
庶務課
庶務係
管理経理係
予防課
指導係
危険物係
建築設備係
警防課
警防1係
警防2係
警防3係
救急救助係
通信指令室
通信管理係
消防相談所
消防団長
消防副団長
本部
女性団員
特設分団
市内全域
第1分団
市街地
第2分団
市街地
第3分団
猪野瀬地域
第4分団
平泉寺町地域
第5分団
北谷町地域
第6分団
村岡町地域
第7分団
野向町地域
第8分団
荒土町地域
第9分団
北郷町地域
第10分団
鹿谷町地域
第11分団
遅羽町地域
機能別消防団員

7　消防本部事務分掌

課	分掌事務
庶務課	1　庶務及び文書に関すること 2　人事及び組織に関すること 3　経理に関すること 4　補助事業事務の執行に関すること 5　消防用建築物及び消防用備品に関すること 6　消防職員の福利厚生に関すること 7　消防統計に関すること 8　消防団事務に関すること 9　消防施設の補助事業に関すること 10　消防水利施設の保全に関すること 11　その他の課に属さないこと
予防課	1　火災予防対策に関すること 2　人命安全対策に関すること 3　一般住宅防火対策推進に関すること 4　防火管理者に関すること 5　防火団体の育成指導に関すること 6　危険物及び指定可燃物の規制に関すること 7　液化石油ガスその他特殊物質の防火に関すること 8　建築同意事務に関すること 9　消防用設備等の審査及び検査に関すること 10　指定防火対象物の査察に関すること 11　消防法令の違反処理の措置に関すること 12　火災原因調査及び損害調査に関すること 13　火薬類に係る権限移譲された事務に関すること
警防課	1　水火災、その他の災害の警戒、防ぎょに関すること 2　出動計画及び外勤計画に関すること 3　自衛消防隊の育成指導に関すること 4　警備計画及び運用に関すること 5　消防装備の研究に関すること 6　消防ポンプ自動車等の管理及び整備並びに運用に関すること 7　消防燃料に関すること 8　消防施設の整備計画及び保全に関すること 9　消防水利の対策及び維持管理に関すること 10　住宅開発に係る消防施設対策に関すること 11　消防職団員の訓練に関すること 12　救急業務に関すること 13　救急の技術及び指導に関すること 14　救急の資機材の管理及び運用に関すること 15　医療機関との連絡調整に関すること 16　集団救急災害の対策に関すること 17　救助業務に関すること 18　救助の技術及び指導に関すること 19　救助の資機材の管理及び運用に関すること
通信指令室	1　通信施設の管理及び運用に関すること 2　非常招集に関すること 3　消防気象及び火災警報等の発令、解除に関すること 4　消防広報及び火災統計に関すること 5　災害情報の収集及び連絡に関すること 6　災害弱者緊急通報体制に関すること 7　関係機関との連絡調整に関すること

8　消防予算状況　（8表～１３表及び１５表～２０表までＲ７年3月３１日現在）

区　　分		令和５年度（千円）	令和６年度（千円）	増減（千円）
市一般会計総額		１１，９００，０００	１４，８３０，０００	２，９３０，０００
消　防　費		３４２，５１４	３５３，２４６	１０，７３２
消防費内訳	常備消防費	２９３，４９７	３０６，１６６	１２，６６９
	非常備消防費	２８，０８６	２８，６３６	５５０
	消防施設費	１６，５１４	１１，０９１	△５，４２３
	救急業務費	３，９３２	６，６８１	２，７４９
	水　防　費	４８５	６７２	１８７
市一般会計との割合		２．８８	２．３８	

9　消防予算と人口等の関係

年度	消防予算（千円）	人　口（人）	市民一人当り（円）	世　帯　数（戸）	１世帯当り（円）
２６	338,899	25,132	13,485	8,088	41,901
２７	340,808	24,359	13,991	8,030	42,442
２８	350,520	23,978	14,618	8,002	43,804
２９	353,032	23,585	14,968	7,978	44,251
３０	413,678	23,186	17,842	7,961	51,963
Ｒ１	388,294	22,777	17,048	7,962	48,768
Ｒ２	468,644	22,421	20,575	7,942	59,008
Ｒ３	341,077	22,018	15,491	7,863	43,377
Ｒ４	317,785	21,698	14,646	7,906	40,195
Ｒ５	342,514	21,307	16,075	7,927	43,209
Ｒ６	353,246	20,875	16,922	7,949	44,439

１０　消防職員配置状況　令和７年３月３１日　（　）は兼務

階級／所属別	合　計	司令長	司　令	司令補	士　長	副士長	消防士	その他の職員	再任用
合　　計	39(2)	1	6(2)	14	5	4	6	1	2
消 防 長	1	1							
次　　長	1		1						
消防署長	(1)		(1)						
次長補佐									
副 署 長									
庶 務 課	6		2	2		1		1	
予 防 課	10		1	5	1	2	1		
警 防 課	16		1	6	4	1	4		
通信指令室	6(1)		2(1)	1			1		2
消防学校									
県防災ヘリ派遣									

１１　消防職員の勤続年数　令和７年３月３１日

年数／階級	１年未満	１～４	５～９	１０～１４	１５～１９	２０～２４	２５～２９	３０以上	合計年	平均年
消防司令長								1	37.0	37.0
消 防 司 令								6	206.0	34.3
消防司令補						4	5	5	397.0	28.4
消 防 士 長				1	4				83.0	16.6
消防副士長				4					45.0	11.3
消　防　士		4	2						21.0	3.5
その他の職員					1				19.0	19.0
再　任　用		2							6.0	3.0
合　　計		6	2	5	5	4	5	12	814.0	20.9

１２　消防職員の年齢調　　令和７年３月３１日

階級別 / 年齢別	合　計	司令長	司　令	司令補	士　長	副士長	消防士	その他の職員	再任用
２０歳未満									
２０～２４	4						4		
２５～２９	3					1	2		
３０～３４									
３５～３９	7				4	3			
４０～４４	2				1			1	
４５～４９	6			6					
５０～５４	12		5	7					
５５～５９	2	1	1						
６０～	3			1					2
合計年齢	1,720	59	328	698	191	133	145	40	126
平均年齢	44.1	59.0	54.7	49.9	38.2	33.3	24.2	40.0	63.0

１３　消防職員の採用状況

年度 / 区分	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49～52	53	54
職　員　数	22	25	24	24	23	23	25	28	27	30	33	31	32	31
採用者数	3	3			1	1	2	3		3	4		1	
退職者数		1		2	1			1		1	2		1	1

年度 / 区分	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6
職　員　数	32	32	32	31	32	32	32	32	32	33	33	33	33	35	37
採用者数	2		1	1	1	1			1	3	1			2	4
退職者数		1	2		1			1	2	1			1	3	1

年度 / 区分	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
職　員　数	36	37	37	37	37	37	37	37	37	37	36	37	37	37	37
採用者数		2	2	1	1		1	2			1	1	2	1	1
退職者数	1	2	1	1		1	2			2		2	1	1	1

区分＼年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	R2	R3	R4
職　員　数	37	37	38	37	37	38	38	39	40(1)	40(1)	40(1)	39	39(2)
採用者数	1		2		2	2		1	2(1)		1		4(2)
退職者数		1	1	2	1			1		1	(1)	4	1

区分＼年度	R5	R6
職　員　数	38(2)	39(2)
採用者数	1	1
退職者数	1	

（　）は再任用

１４　消防職員の教養状況（１０ヶ年）

区分＼年度	消大		福井県消防学校																救急救命士研修	指導救命士研修	計
	幹部科	専科	初任教育	幹部教育			専科教育							特別教育					その他			
				初級幹部科	中級幹部科	上級幹部科	警防科		予防科			救助科	救急科	水難救助科	特別講座	操法指導員教育	起震車操作員教育	時事法学講座				
							警防科	特殊災害科	予防査察科	危険物科	火災調査科											
26			1		1	1	1		1	1		1	1	1		2	4			1		16
27			2	1		1		1	1		1	1	1	1		2	1			1		14
28					1	1	1		1	1		1	1			2	1			1		11
29	1		1	1		1		1			1	1	1			2	2			1	1	14
30	1		1			1	1		1	1		1	1			2	2			1	1	14
1						1		1	1		1	1	1			2	2			1	1	12
2		1	1		1		1		1	1		1	1				2			1		11
3				1		1		1	1		1	1	1			2	2					11
4			2		1		1		1	1		1	1			2	2			1		13
5	1		1	1		1		1	1			1	1			2	2					12
6			1		1	1	1		1		1	1	1		3	2				1		14

１５　消防団員の報酬及び費用弁償

令和７年３月３１日

区　　分	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	機能別団員
年　報　酬	83,000	69,000	51,000	46,000	39,000	38,000	37,000	9,250
出動報酬	水・火災等の災害出動の場合　４時間未満 4,000 円　４時間以上 8,000 円							
費用弁償	警戒・訓練等の場合　１回につき 2,500 円							
技術報酬	車両機関員　　４，０００円 副機関員　　３，５００円 小型ポンプ機関員　　２，５００円							

１６　消防団員の配置（定員２９９名）　令和7年3月３１日

区　分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計	平均年齢	平均勤続
実員基本団員	1	2	12	12	25	33	198	291	48.97	15.80
実員機能別団員							8			
本　部	1	2			1	2	19	27	53.97	11.06
機能別ラッパ隊員							2			
特設分団			1	1	2	2	14	20	49.55	21.94
第１分団			1	1	2	2	14	20	45.27	17.27
第２分団			1	1	2	2	14	20	47.97	18.29
第３分団			1	1	2	2	16	22	49.59	15.02
第４分団			1	1	2	3	18	25	44.43	12.65
第５分団			1	1	2	2	3	14	54.38	11.79
機能別サポート隊員							5			
第６分団			1	1	2	3	20	27	48.13	15.69
第７分団			1	1	2	3	18	25	47.60	16.45
第８分団			1	1	2	3	18	25	49.16	16.36
第９分団			1	1	2	3	14	22	47.55	14.57
機能別サポート隊員							1			
第 10 分団			1	1	2	3	18	25	51.15	19.58
第 11 分団			1	1	2	3	12	19	48.94	15.00

１７　消防団員の階級別勤続年数　令和７年３月３１日

区　分	１未	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35以上	合計
団　長						1				1
副団長						1		1		2
分団長			1			1	6	1	3	12
副分団長					1	1	4	3	3	12
部　長						6	12	6	1	25
班　長				3	6	12	8	4		33
団　員	3	37	44	47	32	28	4	2	1	198
機能別団員	1	5	1	1						8
合　計	4	42	46	51	39	50	34	17	8	291

１８　分団別団員の勤続年数　令和７年３月３１日

区　分	１未	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35以上	合計
本　部 (機能別ラッパ隊含む)	1	7	5	4	4	5		1		27
特設分団		2	1	2	2	7	1	2	3	20
第1分団			4	6	2	4	3	1		20
第2分団	1	1	4	2	3	2	5	1	1	20
第3分団		5	4	2	1	7	3			22
第4分団		5	5	6	4	1	4			25
第5分団 (機能別団員含む)		6	2	1	1	1	2	1		14
第6分団		3	6	4	4	3	4	2	1	27
第7分団		3	4	3	6	4	3	1	1	25
第8分団		1	7	5	2	4	4	2		25
第9分団 (機能別団員含む)	2	2		9	2	6			1	22
第10分団		4	2	2	5	4	2	5	1	25
第11分団		3	2	5	3	2	3	1		19
合　計	4	42	46	51	39	50	34	17	8	291

１９　消防団員の階級別年齢層　令和７年３月３１日

区　分	~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60以上	合計
団　長									1	1
副団長									2	2
分団長							1	1	10	12
副分団長							3	5	4	12
部　長						3	8	6	8	25
班　長					7	8	8	4	6	33
団　員	1	6	9	30	50	51	28	15	8	198
機能別団員									8	8
合　計	1	6	9	30	57	62	48	31	47	291

２０　分団別年齢層　令和７年３月３１日

区　分	~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60以上	合計
本　部 (機能別ラッパ隊)				1	4	5	4	5	8	27
特設分団			1	2	3	4	4	4	2	20
第1分団		2		2	5	5	5		1	20
第2分団		1	1	1	6	3	4	1	3	20
第3分団		1		1	4	3	7	4	2	22
第4分団				7	7	7	3		1	25
第5分団 (機能別団員含む)	1				3	2		1	7	14
第6分団			1	4	8	3	2	6	3	27
第7分団		1	2	2	3	6	5	3	3	25
第8分団			2	2	4	6	4	1	6	25
第9分団			1	2	7	7	1	2	2	22
第10分団		1	1	2		8	5	2	6	25
第11分団				4	3	3	4	2	3	19
合　計	1	6	9	30	57	62	48	31	47	291

２１　消防職・団員出動状況（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

出動種別		消防署									消防団									合計	
		管内			管外			計			管内			管外			計			車両数	人員
		件数	車数	人員	件数	車数	人員	件数	車数	人員	件数	車数	人員	件数	車数	人員	件数	車数	人員		
火災	建物	4	10	46				4	10	46	2	5	43				2	5	43	15	89
	林野	0	0	0				0	0	0										0	0
	車両	1	2	8				1	2	8										2	8
	その他	0	0	0				0	0	0										0	0
警戒	特命	15	16	46				15	16	46										16	46
	河川増水										1	6	17				1	6	17	6	17
	異常気象																				
	年末警戒	6	6	6				6	6	6	6	35	70				6	35	70	41	76
	漏油処理	10	12	20				10	12	20										12	20
	祭礼等	2	2	9				2	2	9										2	9
	その他	18	18	46				18	18	46	31	168	419				31	168	419	186	465
その他	車両点検	6	6	6				6	6	6	143	144	152				143	144	152	150	158
	警防調査	1138	1138	1285				1138	1138	1285										1138	1285
救急	交通	56	56	168	1	1	3	57	57	171										57	171
	急病	543	543	1633	4	4	12	547	547	1645										547	1645
	一般	214	214	647	1	1	3	215	215	650										215	650
	その他	201	201	469	2	2	6	203	203	475										203	475
救助		12	26	45				12	26	45										26	45
教養・訓練		18	85	227	4	5	17	22	90	244	158	103	1961				158	103	1961	193	2205

予　防　関　係

目　次

１	令和６年火災発生状況	－３６－
２	１０年間における火災発生状況	－３７－
３	地域別発生状況	－３７－
４	用途別中高層建築物状況	－３８－
５	建築確認状況	－３９－
６	防火対象物の消防設備設置状況	－４０－
７	危険物施設許認可状況	－４１－
８	数量別危険物施設	－４２－
９	各種届出関係事務処理状況	－４３－
１０	協力団体活動状況	－４４－

1　令和６年火災発生状況（令和6年1月1日～令和6年１２月３１日）

区分＼年比				令和５年	令和６年	比較増減
火災件数	建物			2	6	4
	林野			0	0	0
	車両			1	2	1
	その他			3	0	△3
計				6	8	2
棟数	全焼			1	0	△1
	半焼			0	0	0
	部分焼			2	2	0
	ぼや			0	4	4
	爆発			0	0	0
人的	死者			1	1	0
	負傷者			0	2	2
罹災世帯				1	4	3
罹災人員				4	6	2
焼損面積	統計	建物 ㎡	床	４１９	0	△４１９
			表	１０	4	△6
		林野　a		0	0	0
		その他　㎡		１，４９８	0	△１，４９８
損害額	総計　千円			１３，０７３	３，７９５	△９，２７８
	１件平均　千円			２，１７９	４７４	△１，７０４
	１日平均　千円			３６	１０	△２５
	１世帯当り　円			１，６４７	４７７	△１，１７０
	市民１人当り　円			６０９	１８０	△４２８
火災発生間隔　日				６１	４６	△１５

１２月３１日現在	人口	世帯
令和5年	２１，４８３人	７，９３７戸
令和6年	２１，０５６人	７，９５４戸

２　１０年間における火災発生状況（1月1日～12月31日）

区分＼年		２７	２８	２９	３０	令和元年	２	３	４	５	６	平均
火災件数	建　物	7	4	1	6	3	5	4	3	2	6	4．1
	林　野					1		2	2			0．5
	車　両	3	1		1			1	1	1	2	1．0
	その他	1	3	1	3	2	4	1	1	3		1．9
棟数	全　焼	6	1		3	1	1	2	3	1	0	1．8
	半　焼		1				1		3		0	0．5
	部分焼						1	1		1	2	0．5
	ぼ　や	4	2	1	3	4	5		1	1	4	2．5
死　者		2			1	1			2	1	1	0．8
負傷者		1	2	1	1	4	1	4			2	1．6
焼損面積（㎡）		表０　床９２７	表１１０　床５１０	表０　床０	表０　床７５３	表３５　床１２７	表１７８　床１９８	表１８９　床２９６	表３３　床５９３	表１０９　床４１９	表４　床０	表２６２　床３８２
損害額（千円）		23,854	6,700	154	24,346	15,007	19,395	60,003	36,407	13,073	3,795	20,273

３　地域別発生状況（1月1日～12月31日）

地域別＼年	２７	２８	２９	３０	令和元年	２	３	４	５	６
市街地	2	1		1	2	2				2
猪野瀬	1	1				1		1	2	
北　谷	1	1		1	1		1	3		
平泉寺		1					1			1
村　岡	2	2		2		2	1		2	3
野　向				2					1	1
荒　土				1	1	3				1
北　郷	2	1		1	1	1	2	1	1	
鹿　谷	3						1	2		
遅　羽		1	2	2	1		2			

４　用途別中高層建築物状況（令和７年３月３１日現在）

用途別 ＼ 階数	３階	４階	５階	６階	７階	合　計
集　会　場	２					２
料理・飲食店等	６					６
店　　舗	２					２
旅館・ホテル等	１４	６	５	１		２６
病　院　等	４	１	１			６
学　　校	１４					１４
博　物　館	１			１		２
工　　場	１１	７		１	１	２０
倉　　庫	２					２
事　業　所	１２	３	１			１６
複合用途	２５	１				２６
合　　計	９３	１８	７	３	１	１２２

5　建築確認状況（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

対象物名			新築	増築	改築	その他	合計
1	イ	劇場・体育館					
	ロ	公会堂・集会場					
2	ロ	遊技場・ダンスホール					
	ニ	個室店舗					
3	イ	料理店					
	ロ	飲食店					
4		百貨店・マーケット	1				1
5	イ	旅館・ホテル等	1				1
	ロ	寄宿舎・共同住宅等					
6	イ	病院・診療所					
	ロ	主に入所を伴う社会福祉施設					
	ハ	主に通所の社会福祉施設					
	ニ	幼稚園等					
7		小・中・高等学校	4	1			5
8		図書館・博物館					
9	ロ	一般の公衆浴場					
10		車両の停車場					
11		神社・寺院・教会等		1			1
12	イ	工場・作業場	1	1			2
13	イ	自動車車庫・駐車場					
14		倉庫					
15		前各項に該当しない事業所	6				6
16	イ	特定用途を含む複合用途	1				1
	ロ	上記以外の複合用途					
17		重要文化財					
		建築設備					
		住宅等	13	2		2	17
合計			27	5		2	34

6　防火対象物の消防設備設置状況（令和７年３月３１日現在）

設備名／項	自動火災報知設備	スプリンクラー設備	屋内消火栓設備	屋外消火栓設備	連結散水設備	連結送水設備	非常警報設備	避難器具	防火対象物総数	
									1,000㎡未満	1,000㎡以上
１項　イ	1		1							1
ロ	15		5				18	2	61	5
２項　ロ	3		1							3
３項　イ	10		1				1	2	11	1
ロ	5		2				3	1	23	2
４項	25		8				7		44	14
５項　イ	33	2	2			2		3	30	3
ロ	6						4	9	33	14
６項　イ	6	3	1			1	2	3	4	5
ロ	11	12						3	5	7
ハ	18							1	18	2
ニ	2	1						1	1	1
７項	15		13					13	1	14
８項	5		3					1	3	3
９項　ロ	1								1	1
１０項									1	
１１項	5		1				8	1	37	8
１２項　イ	101		50	8	1	2	2	6	108	70
１３項　イ	5								28	1
１４項	22		7						102	13
１５項	19		4				11	1	95	20
１６項　イ	21	4	3				6	5	82	6
ロ	1		1						11	1
１７項	7								7	
合　　計	337	22	103	8	1	5	62	52	706	195

7　危険物施設許認可状況（令和７年３月３１日現在）

区分 ＼ 年	設置許可	変更許可	完成検査		廃止	施設数
			設置	変更		
製造所						3
屋内貯蔵所						9
屋外タンク貯蔵所						２３
屋内タンク貯蔵所						1
地下タンク貯蔵所					1	４１
移動タンク貯蔵所	1	2	1	2		１３
屋外貯蔵所						2
給油取扱所						１５
一般取扱所						２０
合計	1	2	1	2	1	１２７

８　数量別危険物施設（令和６年４月１日～令和７年３月３１日）

製造所等別／区別	製造所	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所	合計
５倍以下		１	４	１	２３	１３	１		１２	５５
５倍を超え１０倍以下	２	２	５		９		１	４	４	２７
１０倍を超え５０倍以下	１	４	１４		８			５	４	３６
５０倍を超え１００倍以下		１			１			２		４
１００倍を超え１５０倍以下								２		２
１５０倍を超え２００倍以下										
２００倍を超え１０００倍以下		１						２		３
合　　計	３	９	２３	１	４１	１３	２	１５	２０	１２７

※　液化石油ガス貯蔵又は、取扱いの開始届出

（令和６年度）・・・　　１件

９　各種届出関係事務処理状況（令和６年４月１日～令和７年３月３１日）

種　　別	件　数
発電設備　変電設備　蓄電池設備　燃料電池発電設備	6
火花を生ずる設備設置届出書	0
水素ガスを充填する気球の設置届出書	0
火災とまぎらわしい煙、又は火災を発生するおそれのある行為の届出書	２５
煙火打ち上げ（仕掛け）届出書	3
少量危険物等の貯蔵届出書	１５
水路断（減）水届出書	１７
露店開設届出書	２３
防火対象物使用開始届出書	１８
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届出書（液化石油ガス設備工事含む）	1
禁止行為の解除承認申請書	0
火を使用する設備等の設置届出書	1
消防用設備等試験申請書	2
危険物タンク試験申請書	0
罹災証明願	6
救急搬送証明願	0
消防用設備設置届出書	２４
防火管理者選任（解任）届出書	６５
自衛消防訓練通知書	１９８
消防計画作成（変更）届出書	８９
道路占用	1
道路工事	６７
催物開催届出書	1
消防用設備等点検結果報告	３８４
自衛消防隊訓練計画届（地区自衛消防）	２７
その他（ネオン管等設備設置届出書）	0

１０　協力団体活動状況（令和７年３月３１日現在）

団　　体　　名	加入団体数	人員	活　動　内　容
勝山市 危険物安全協会 （S．３８．１１．１）	６６	６６	①危険物の災害防止に関する調査研究 ②危険物等の災害防止広報 ③危険物取扱者講習
勝山市 防火管理研究協議会 （S．４１．１１．１８）	１９	１９	①防火管理知識のかん養 ②災害防止と防火思想の普及宣伝
勝山市女性防火クラブ 消防隊　９ （S．４５．６．２５）	７	６２	①家庭及び地域における防火思想の普及啓蒙 ②火気使用器具の正しい取り扱い及び初期消火技術の習得
勝山市 少年消防クラブ （S．４０．９．２）	１５	７７１	①少年消防として必要な消防研修 ②火災予防に関する広報活動 ③県ＢＦＣ交歓会参加
勝山市 幼年消防クラブ （S．５９．４．１）	１０	３８８	①幼年消防として必要な消防研修（火に対する正しいしつけを身につける） ②火災予防に関する広報活動

警　防　関　係

目　次

１	現有消防力	－４６－
２	消防自動車性能一覧表	－４６－
３	小型動力ポンプ性能一覧表	－４７－
４	消防機械等の経過年数表	－４８－
５	消防水利の現状	－４８－
６	自衛消防組織結成状況	－４８－
７	救急出場件数	－４９－
８	過去２ヶ年間の救急出場件数	－４９－
９	搬送人員状況	－４９－
１０	救助活動状況	－５０－

1　現有消防力

区　分	消防本部・署	消　防　団	地　域　自　衛
普通ポンプ車	2台	2台	
水槽付ポンプ車	1台		
多目的ポンプ車	1台		
救助工作車	1台		
積　載　車	0台	１１台	
小型動力ポンプ	0台	１１台	９７台
救　急　車	3台		
指令（指導）車	2台		
広　報　車	2台		
作　業　車	1台		
軽可搬ポンプ	2台		１１台

2　消防自動車性能一覧表

区分／所属	車　名	年式	エンジン		ポ　ン　プ				
			気筒数	馬力	ポンプ型式	吸径	吸口数	放口数	放水規格
７号車	トヨタ	25	4	144	MZI	75	2	4	A－2
２号車	ヒノ	31	6	240	NF75	80	3	4	A－1
８号車	ヒノ	29	4	150	NF75	80	2	4	A－2
梯子車	ヒノ	R4	6	177	MZI	75	2	4	A－2
工作車	ヒノ	24	6	220	－	－	－	－	－
救急１	トヨタ	19	4	151	－	－	－	－	－
救急２	トヨタ	R1	4	151	－	－	－	－	－
救急３	トヨタ	25	4	151	－	－	－	－	－
指揮１	トヨタ	26	4	151	－	－	－	－	－
指令１	ミツビシ	15	6	180	－	－	－	－	－
広報１	スズキ	29	4	52	－	－	－	－	－
広報２	ニッサン	22	4	95	－	－	－	－	－
作業車	ミツビシ	14	4	94	－	－	－	－	－

特設分団	イスズ	14	4	140	NF75	75	2	4	A－2
第１分団	トヨタ	22	4	144	－	－	－	－	－
第２分団	トヨタ	24	4	144	－	－	－	－	－
第３分団	イスズ	R2	6	150	ME-700	75	2	4	A－2
第４分団	イスズ	22	4	110	－	－	－	－	－
第５分団	トヨタ	22	4	144	－	－	－	－	－
第６分団	トヨタ	21	4	136	－	－	－	－	－
第７分団	トヨタ	21	4	136	－	－	－	－	－
第８分団	トヨタ	21	4	136	－	－	－	－	－
第９分団	トヨタ	24	4	144	－	－	－	－	－
第１０分団	トヨタ	24	4	136	－	－	－	－	－
第１１分団	トヨタ	21	4	136	－	－	－	－	－
積載１	トヨタ	27	4	144	－	－	－	－	－
積載２	スズキ	31	3	49					

３　小型動力ポンプ性能一覧表

区分／所属	車　名	年式	エンジン			ポ　ン　プ		
			気筒数	ｻｲｸﾙ	馬力	型式	吸径	放水規格
第１分団	トーハツ	22	3	4	30	VF63AS	75	B－2
第２分団	トーハツ	24	3	4	30	VF63AS	75	B－2
第４分団	トーハツ	22	3	4	30	VF63AS	75	B－2
第５分団	トーハツ	22	3	4	30	VF63AS	75	B－2
第６分団	トーハツ	21	3	4	30	VF63AS	75	B－2
第７分団	トーハツ	21	3	4	30	VF63AS	75	B－2
第８分団	トーハツ	21	3	4	30	VF63AS	75	B－2
第９分団	トーハツ	24	3	4	30	VF63AS	75	B－2
第１０分団	トーハツ	24	3	4	30	VF63AS	75	B－2
第１１分団	トーハツ	21	3	4	30	VF63AS	75	B－2
消防団	トーハツ	27	3	4	30	VF63AS	75	B－2
消防団	シバウラ	31	2	2	32	FF500	75	B－2

4　消防機械等の経過年数表

ア　四輪自動車

区　分	3年未満	6年未満	8年未満	10年未満	15年未満	15年以上	計
消防署	1	2	2	1	3	4	１３
消防団	0	2	0	0	6	5	１３
計	1	4	2	1	9	9	２６

イ　小型動力ポンプ

区　分	3年未満	6年未満	8年未満	10年未満	15年未満	15年以上	計
消防署	0	0	0	0	0	0	0
消防団	0	1	0	0	6	4	１１
計	0	1	0	0	6	4	１１

5　消防水利の現状

消　火　栓		防　火　水　槽					プール
	上水道		７０ｍ^3	４０ｍ^3	２０ｍ^3	その他	
基　準	４３７	公　設	5	１９８	１３	１２	1
基準外	７４０	私　設	7	３９			1

6　自衛消防組織結成状況

可搬式ポンプ保有隊	自主防災組織	女　性　消　防　隊	事　業　所
９１	７７	7	２１６

7　救急出場件数（令和6年1月1日～令和6年１２月３１日）

出場別／月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
出　場　数		96	87	82	72	82	67	105	104	67	77	73	110	1022
内訳	水　難	1												1
	交　通	2	8	6	3	6	4	2	6	4	6	6	4	57
	労　働		2	1	1		1	1	2		2	1	1	12
	運　動								2			1		3
	一　般	27	26	17	18	21	8	14	22	10	13	12	27	215
	火　災			1	2									3
	加　害						1	2	1					4
	自　損						1		1	2				4
	急　病	53	32	48	35	43	39	72	56	34	41	39	55	547
	その他	13	19	9	13	12	13	14	14	17	15	14	23	176

8　過去２ヶ年間の救急出場件数

出場別／年		令和５年	令和６年
出場件数		９３０	１０２２
内訳	交通	２９	５７
	急病	５２６	５４７
	一般	１９１	２１５
	その他	１８４	２０３

9　搬送人員状況（令和6年1月1日～令和6年１２月３１日）

１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	合計
９０	８５	８２	６５	７９	６２	９９	９５	６４	７２	７１	１０３	９６７

１０　救助活動状況（令和６年１月１日～令和６年１２月３１日）

	事故種別									
	火災	交通事故	水難	自然災害風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他事故	合計
出動数		9	1		1				1	１２
１月										
２月		2							1	3
３月		1								1
４月		2								2
５月										
６月										
７月										
８月		1								1
９月			1		1					2
１０月										
１１月		3								3
１２月										
活動人員数		３４	0		5				0	３９
救助人員数		5	0		3				0	8
死亡										
重症										
中等症		4								4
軽症		1			3					4
その他										

通　信　関　係

目　次

１　無線通信施設　－５２－

２　緊急通報等受信状況　－５３－

３　気象統計　－５５－

４　気象情報統計　－５６－

1　無線通信施設

無　　線　　施　　設				
基地局	移動局	携帯局	固定局	福井県防災情報ネットワーク
3	１７	デジタル無線 ２５	１２	1

通　　信　　施　　設				
１１９番 ひかり回線	一般加入	転送用	専用線 市役所	衛星携帯
2	1	1	1	1

※１１９回線内訳

NTT	携帯	IP 回線	ヘルプネット	監視用	コールバック
2	8	6	2	2	2

※一般加入内訳

一般電話	留守テル	FAX
4	2	1

※転送用内訳

携帯１１９転送	UUI
2	1

2　緊急通報等受信状況

（1）局別受信状況

	８３局	８７局	８９局	携帯	ＩＰ	一般加入	駆け付け	自己覚知	その他	合計
４月	0	14	3	42	28	15	0	0	0	102
５月	0	20	6	58	29	18	0	0	4	135
６月	1	24	5	42	24	16	0	1	3	116
７月	3	20	10	77	38	18	0	0	7	173
８月	0	21	4	61	33	22	2	1	0	144
９月	0	24	9	35	16	21	0	2	1	108
10 月	2	25	8	49	25	21	0	0	4	134
11 月	0	30	9	44	40	18	1	0	3	145
12 月	0	21	3	71	28	25	0	0	1	149
１月	1	11	5	75	35	34	0	0	0	161
２月	1	24	10	62	28	12	0	0	2	139
３月	1	18	12	59	34	24	0	0	1	149
合計	9	252	84	675	358	244	3	4	26	1,655

（2）曜日別受信状況

	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合計
４月	13	20	21	8	17	14	9	102
５月	20	17	15	16	25	27	15	135
６月	7	21	14	15	20	20	19	116
７月	21	23	23	29	23	35	19	173
８月	24	21	16	17	19	27	20	144
９月	16	20	23	14	14	6	15	108
10 月	18	9	18	23	35	14	17	134
11 月	9	19	25	24	20	32	16	145
12 月	25	30	32	18	15	14	15	149
１月	19	9	15	34	32	30	22	161
２月	10	19	20	34	22	19	15	139
３月	12	22	36	15	22	17	25	149
合計	194	230	258	247	264	255	207	1,655

（3）内容別件数

	災害				その他					合計
	火災	救急	救助	その他災害	問合せ	悪戯	訓練	間違い	その他	
４月	1	70	2	3	0	0	11	1	14	102
５月	1	82	0	1	5	1	26	1	18	135
６月	0	67	0	4	3	0	26	8	8	116
７月	0	103	0	3	5	0	29	9	24	173
８月	0	106	0	2	1	0	5	7	23	144
９月	0	64	2	1	1	0	6	2	32	108
10 月	0	76	0	2	2	0	33	3	18	134
11 月	1	70	2	1	4	0	49	3	15	145
12 月	1	110	0	1	4	0	14	3	16	149
１月	0	114	1	1	5	0	4	10	26	161
２月	0	85	0	0	1	0	23	5	25	139
３月	2	87	0	1	8	1	18	2	30	149
合計	6	1034	7	20	39	2	244	54	249	1,655

(4)時間別受信状況

時間別 月別	0～	1～	2～	3～	4～	5～	6～	7～	8～	9～	10～	11～	12～	13～	14～	15～	16～	17～	18～	19～	20～	21～	22～	23～	合計
4月	3	1	0	0	1	2	3	3	5	9	10	5	12	10	5	5	3	3	4	8	4	2	2	2	102
5月	1	1	3	1	0	0	5	4	15	12	15	5	5	8	17	4	9	8	4	2	7	5	2	2	135
6月	0	0	1	0	4	5	4	4	4	9	9	12	7	10	12	6	7	5	2	7	2	1	3	2	116
7月	4	5	2	4	1	3	4	4	6	17	23	7	9	15	10	6	8	4	13	9	8	3	4	4	173
8月	5	1	2	2	0	1	3	6	6	8	8	16	13	6	9	8	11	6	9	5	6	7	2	4	144
9月	0	2	0	0	3	2	3	8	4	7	6	2	7	19	14	7	6	4	3	2	2	3	2	2	108
10 月	1	4	2	2	1	2	2	3	10	12	12	7	11	8	15	11	10	5	4	5	1	3	1	2	134
11 月	4	3	1	0	2	3	3	6	17	10	13	5	8	20	15	10	6	2	3	6	3	3	1	1	145
12 月	5	2	4	3	3	3	1	9	11	12	12	10	9	8	9	10	11	8	4	3	3	3	5	1	149
1月	5	2	1	2	4	0	5	4	8	16	13	12	10	12	7	10	12	9	5	6	2	5	8	3	161
2月	2	2	1	2	2	2	3	4	6	8	12	6	9	22	20	9	7	6	4	5	4	0	0	3	139
3月	1	2	2	2	1	3	5	1	8	15	17	15	16	5	10	10	6	6	5	3	5	3	4	4	149
合計	31	25	19	18	22	26	41	56	100	135	150	102	116	143	143	96	96	66	60	61	47	38	34	30	1,655

（5）男女別通報者内訳

	男	女	不明	合計
4 月	44	50	8	102
5 月	56	78	1	135
6 月	58	56	2	116
7 月	83	80	10	173
8 月	76	64	4	144
9 月	68	39	1	108
10 月	71	61	2	134
11 月	69	71	5	145
12 月	77	70	2	149
1 月	64	91	6	161
2 月	72	65	2	139
3 月	70	76	3	149
合計	808	801	46	1,655

（6）通報者別内訳

	成人	老人	子供	不明	合計
4 月	75	19	0	8	102
5 月	122	12	0	1	135
6 月	112	2	0	2	116
7 月	141	22	0	10	173
8 月	120	17	3	4	144
9 月	95	12	0	1	108
10 月	120	12	2	0	134
11 月	126	14	0	5	145
12 月	131	16	2	0	149
1 月	125	30	6	0	161
2 月	116	21	0	2	139
3 月	125	21	0	3	149
合計	1,408	198	13	36	1,655

3　気象統計

月	平均風速 (m/s)	瞬間最大		気温			湿度		気圧 (hPa)	月積算雨量 (mm)	月最高降雪量 (mm)	月最高積雪量 (mm)
		風速 (m/s)	風向	月平均 (℃)	月最高 (℃)	月最低 (℃)	相対 (%)	実効 (%)				
4	1.7	16.5	北東	15.1	27.7	1.3	74.8	75.4	1016.6	103.8	—	—
5	2.0	17.4	南南東	17.4	30.7	4.7	74.0	74.8	1016.3	169.4	—	—
6	1.6	12.1	南	21.9	33.2	11.1	77.2	77.7	1011.6	223.3	—	—
7	1.0	21.9	北	26.0	35.9	20.5	85.7	86.2	1011.7	344.0	—	—
8	1.5	12.1	南西	27.9	36.7	21.6	82.1	82.8	1009.4	65.6	—	—
9	1.1	13.0	西南西	25.8	35.3	16.1	82.6	83.1	1014.9	38.0	—	—
10	1.1	14.8	北東	18.7	29.2	7.5	83.5	83.7	1020.3	170.6	—	—
11	1.3	17.9	北東	11.4	24.6	0.6	82.9	82.9	1021.6	206.8	—	—
12	0.8	13.4	北	3.0	16.7	-2.7	89.8	89.4	1020.3	444.8	25	40
1	0.7	16.1	北東	1.8	13.1	-3.6	88.0	88.3	1021.9	248.2	28	72
2	0.8	17.4	西	0.9	11.5	-5.4	89.2	89.1	1020.7	212.4	36	152
3	1.0	14.8	西	5.6	24.8	-2.3	81.5	82.8	1019.6	131.8	9	91
平均	1.2	15.6		14.6	26.6	5.8	82.6	83.0	1017.1	196.6		
最高	2.0	21.9		27.9	36.7	21.6	89.8	89.4	1021.9	444.8	36	152
最低	0.7	12.1		0.9	11.5	-5.4	74.0	74.8	1009.4	38.0		
積算										2358.7		

4　気象情報統計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
通報	火災気象通報	9	9	6	0	0	0	0	1	0	0	0	1	26	26
特別警報	大雨特別警報													0	0
	大雪特別警報													0	
	暴風特別警報													0	
	暴風雪特別警報													0	
警　報	大雨警報			1	1									2	6
	洪水警報			1	1									2	
	大雪警報											2		2	
	暴風警報													0	
	暴風雪警報													0	
	合　　計	9	9	8	2	0	0	0	1	0	0	2	1	32	32

警報発表日　【大雨】6/23, 7/1　【洪水】6/23, 7/1　【大雪】2/4, 2/5